

救急車を上手に使いましょう

～ 救急車 必要なのはどんなとき？～



近年、救急車の出動件数・搬送人員数はともに増えており、救急隊の現場までの到着時間も遅くなっています。

また、救急車で搬送された人の約半数が入院を必要としない軽症という現状もあります。

そこで、東温市民の皆さまに救急車を適正に利用していただくため、「救急車を上手に使いましょう ～救急車 必要なのはどんなとき？～」を作成しました。

この中には、

救急車を呼んだら用意しておくべきものなど「**救急通報のポイント**」、
重大な病気やけがの可能性のある「**ためらわず救急車を呼んでほしい症状**」、
実際に救急車を呼ぶ場合の「**救急車の呼び方**」などを載せていますので、
救急車を呼ぶべきかどうか判断に困った場合などに、
活用していただければと思います。

救急車や救急医療は限りある資源です。みんなで上手に使い、
救急医療を安心して利用することのできる、社会を目指していきたいと思ひます。

東温市消防本部

救急通報のポイント

救急車を呼ぶときの番号は「**119番**」です。

AEDを誰かに
持ってきて
もらってください

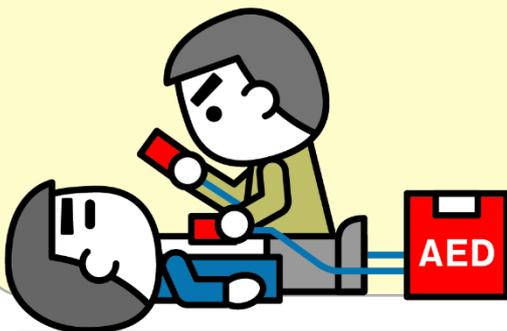


救える命を救うためには、**応急手当**が重要です。
応急手当が必要な場合は、消防本部から電話で指示されます。

救急車が到着するまではどうしても時間がかかります。
いざというときに、大切な方を救うためにも、
正しい応急手当を身につけておきましょう。



東温市
平均7分54秒
(令和2年中)



東温市消防本部では**応急手当**の講習を行っています。
お問い合わせの電話番号は
☎ **089-964-5210**です。

応急手当をしている人以外にも
人手がある場合は、
救急車の来そうなところまで案内に出ると
到着が早くなります。



こちらです!



救急車を呼んだら、**こんな物を用意しておく**と便利です。

- ・保険証や診察券
- ・お金
- ・靴
- ・普段飲んでいる薬
(おくすり手帳)



- (乳幼児の場合)
- ・母子健康手帳
 - ・紙おむつ
 - ・ほ乳瓶
 - ・タオル



救急車が来たら、**こんなことを伝えて下さい**。

- ・事故や具合が悪くなった状況
- ・救急隊が到着するまでの変化
- ・おこなった応急手当の内容
- ・具合の悪い方の情報
(持病、かかりつけの病院やクリニック、
普段飲んでいる薬、医師の指示等)

持病は●●●

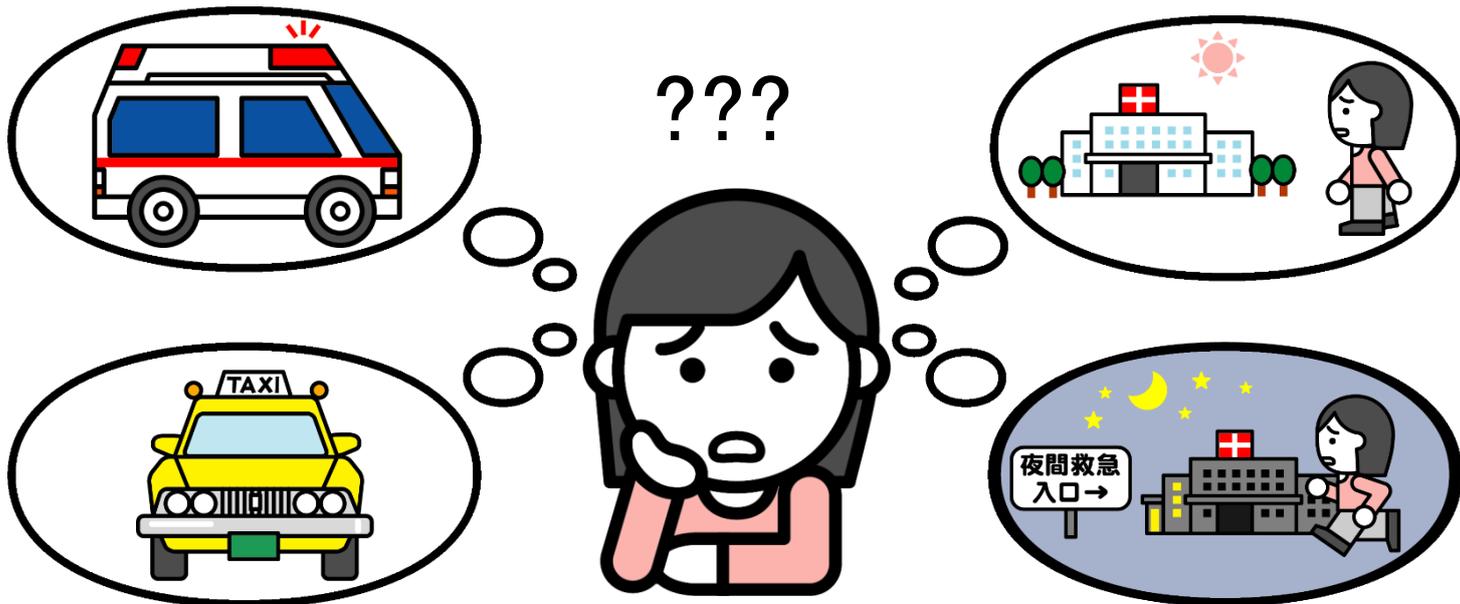
かかりつけ病院は
▲▲▲病院

普段飲んでいる薬は
■ ■ ■

* 持病、かかりつけの病院
やクリニックなどは、
日頃からメモにまとめて
おくとおくと便利です。

判断に迷ったときは、お近くの救急相談窓口

夜間に子どもさんの急な病気やけがをしたとき、救急車を呼んだほうがいいのか、自分で病院を受診すればいいのか、どこの病院に行けばいいのか迷うことがあります。



そのような時には
愛媛県子ども医療電話相談をご利用ください。

短縮ダイヤル(プッシュ回線・携帯電話)

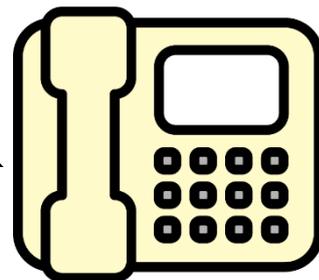
☎ # 8 0 0 0

ダイヤル回線・IP回線など(☎ 913-2777)

利用時間 ◇平 日 19時から翌朝8時

◇土 曜 13時から翌朝8時

◇日・祝 8時から翌朝8時



MEMO

ためらわず救急車を呼んでほしい症状：大人

こんな症状がみられたら、ためらわずに119番に連絡してください！
重大な病気やけがの可能性あります。

顔

- 顔半分が動きにくい、あるいはしびれる
- ニッコリ笑うと口や顔の片方がゆがむ
- ろれつがまわりにくい、うまく話せない
- 視野がかける
- ものが突然二重に見える



頭

- 突然の激しい頭痛
- 突然の高熱
- 支えなしで立てないくらい急にふらつく

胸や背中

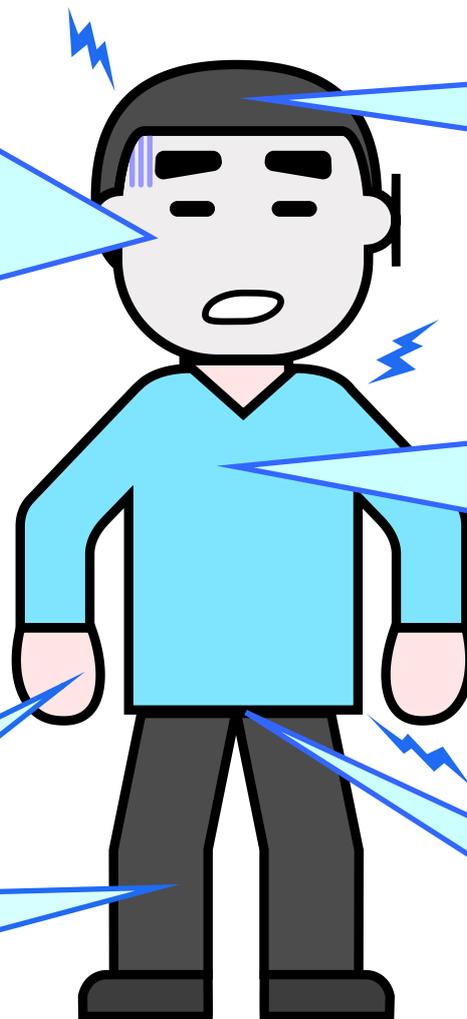
- 突然の激痛
- 急な息切れ、呼吸困難
- 胸の中央が締め付けられるような、または圧迫されるような痛みが2~3分続く
- 痛む場所が移動する

手足

- 突然のしびれ
- 突然、片方の腕や足に力が入らなくなる

腹

- 突然の激しい腹痛
- 持続する激しい腹痛
- 吐血や下血がある



意識の障害

- 意識がない(返事がない)又はおかしい(もうろうとしている)
- ぐったりしている



けいれん

- けいれんが止まらない
- けいれんが止まっても、意識がもどらない

けが・やけど

- 大量の出血を伴う外傷
- 広範囲のやけど

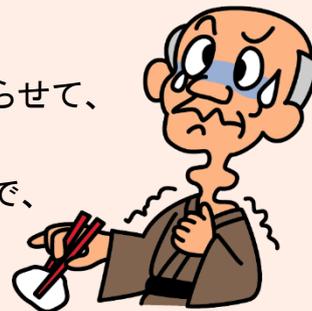


吐き気

冷や汗を伴うような強い吐き気

飲み込み

- 食べ物をのどにつまらせて、呼吸が苦しい
- 変なものを飲み込んで、意識がない



事故

- 交通事故にあった(強い衝撃を受けた)
- 水におぼれている
- 高所から転落

◎その他、いつもと違う場合、様子がおかしい場合

ためらわず救急車を呼んでほしい症状：小児（15歳未満）

こんな症状がみられたら、ためらわずに119番に連絡してください！
重大な病気やけがの可能性がります。

顔

- くちびるの色が紫色で、呼吸が弱い

胸

- 激しい咳やゼーゼーして呼吸が苦しく、顔色が悪い

手足

- 手足が硬直している

頭

- 頭を痛がって、けいれんがある
- 頭を強くぶつけて、出血がとまらない、意識がない、けいれんがある

おなか

- 激しい下痢や嘔吐で水分が取れず食欲がなく意識がはっきりしない
- 激しいおなかの痛みで苦しがり、嘔吐が止まらない
- ウンチに血がまじった

意識の障害

- 意識がない(返事がない) 又はおかしい (もうろうとしている)



じんましん

- 虫に刺されて全身にじんましんが出て、顔色が悪くなった

けいれん

- けいれんが止まらない
- けいれんが止まっても、意識がもどらない

やけど

- 痛みのひどいやけど
- 広範囲のやけど

飲み込み

- 変なものを飲み込んで、意識がない

事故

- 交通事故にあった (強い衝撃を受けた)
- 水におぼれている
- 高所から転落

生まれて3カ月未満の乳児

- 乳児の様子がおかしい



◎その他、いつもと違う場合、様子がおかしい場合

救急車の呼び方

119番通報をすると、指令員が救急車の出動に必要なことを、順番にお伺いします。緊急性が高い場合は、すべてお伺いする前でも救急車が出動します。
あわてず、ゆっくりと教えてください。



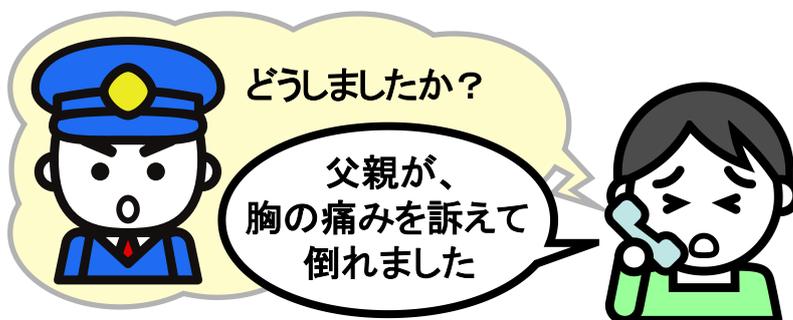
1 救急であることを伝える

119番通報をしたら、まず「救急です」と伝えてください。



2 救急車に来てほしい住所を伝える

住所は、必ず、市町村名から伝えてください。住所が分からない時は、近くの大きな建物、交差点など目印になるものを伝えてください。



3 具合の悪い方の症状を伝える

最初に、誰が、どのようにして、どうなったと簡潔に伝えてください。また、分かる範囲で意識、呼吸の有無等を伝えてください。



4 具合の悪い方の年齢を伝える

具合の悪い方の年齢を伝えてください。分からない時は、「60代」のように、おおよそでかまいませんので伝えてください。



5 あなたのお名前と連絡先を伝える

あなたのお名前と119番通報後も連絡可能な電話番号を伝えてください。場所が不明な時などに、問い合わせることがあります。

※その他、詳しい状況、持病、かかりつけ病院等について尋ねられることがあります。答えられる範囲で伝えてください。

※上記に示したものは一般的な聞き取り内容です。